

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 臨時経費		
事業名	872	教科書指導書購入事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	- 教科書の改訂年度に、小学校または中学校の教師用教科書及び指導書を購入します。 - 学級増等に伴う小中学校のニーズに応じて教師用教科書を購入します。 - 児童生徒の学びの充実や障害等による学習上の困難の低減に資するよう、教師用デジタル教科書(教材)を購入します。
事業の目的	小中学校で、授業を実施できるように教師用の教科書及び指導書を用意します。
事業の効果	- 教師用教科書を使用して、各小中学校で授業を実施します。 - 指導書を活用して教材研究を行い、授業内容を充実させ、学習を効果的に展開することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	241	小中学校の学級増分及び少人数指導分の教師用教科書を購入します。 児童生徒の学びの充実や障害等による学習上の困難の低減に資するよう、教師用デジタル教科書(教材)を購入します。
令和05年度	241	小中学校の学級増分及び少人数指導分の教師用教科書を購入します。 児童生徒の学びの充実や障害等による学習上の困難の低減に資するよう、教師用デジタル教科書(教材)を購入します。
令和06年度	40,787	令和6年度に小学校の教科書が改訂されることに伴い、小学校教師用教科書及び指導書を購入します。 小中学校の学級増分及び少人数指導分の教師用教科書を購入します。 児童生徒の学びの充実や障害等による学習上の困難の低減に資するよう、教師用デジタル教科書(教材)を購入します。
合計	41,269	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
教科書・指導書のニーズを把握した学校数	34校	34校	34校
教科書・指導書を配当した学校数	34校	34校	34校
教師用教科書を使用して授業を行った学校数	34校	34校	34校
指導書を使用して授業を行った学校数	34校	34校	34校

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 / 臨時経費		
事業名	207	教育指導書等改訂分作成事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	佐倉市についてまとめた社会科副読本を作成し、小学校3年生に配布し、社会科において地域を学ぶ学習を行います。
事業の目的	佐倉市や千葉県に関する資料をまとめた副読本を作成し、授業で活用することにより地域学習における興味・関心を高めるとともに、知識を深めることを目的とします。
事業の効果	児童の佐倉市や千葉県についての関心が高まり、地域の学習が深められることにより、これからの社会を生きるための基礎・基本を確実に身に付けた児童を育成することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	0	(社会科副読本改訂編集の実施予定はありません。)
令和05年度	144	社会科副読本作成委員会を開催し、副読本「わたしたちの佐倉市3,4年生版」を作成します。
令和06年度	0	(社会科副読本改訂編集の実施予定はありません。)
合計	144	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
社会科副読本印刷数	3年児童数+学校数	3年児童数+学校数	3年児童数+学校数
社会科副読本作成委員の出席者数	-	9人	-
社会科副読本の授業で活用している学校数	23校	23校	23校
社会科現地学習の事前学習で社会科副読本を活用している学校数	23校	23校	23校
佐倉の歴史や自然に興味があると回答する児童生徒の割合	70%	70%	70%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9 款-1 項-3 目 / 経常経費		
事業名	309	教職員研修事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和 04 年度～令和 06 年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・教職員の資質、指導力の向上をめざし、市教育委員会が主催する研修を行います。 ・校内研修会における授業研究や実技研修等に講師を派遣します。
事業の目的	・教職員自らが教職への情熱や使命感をもち、新しい教育情報を捉えて、常に研究と修養に励む機会とします。 ・研修を通して、知識・技能を習得し、思考・判断その他の人格的要素を研鑽し、職務を適正かつ能率的に遂行する能力を養います。 ・校外研修会への指導主事等の派遣を通し、更なる資質や指導力の向上を図ります。
事業の効果	・教職員の質を高めることにより、変化の激しい社会を担う児童生徒に必要な「生きる力」を育成することにつながります。 ・教員の授業力を向上させ授業改善に努め、児童生徒に基礎的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学習意欲の向上等、新学習指導要領の目指す確かな学力を育成します。 ・学校教育活動の充実が図られ各学校の教育改革につながります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和 04 年度	4,234	教職員の資質、指導力の向上を目指し、夏季研修会等、市教育委員会が主催する研修会を行い、校内における授業研究会や実技研修会等に講師を派遣します。
令和 05 年度	4,234	教職員の資質、指導力の向上を目指し、夏季研修会等、市教育委員会が主催する研修会を行い、校内における授業研究会や実技研修会等に講師を派遣します。
令和 06 年度	4,234	教職員の資質、指導力の向上を目指し、夏季研修会等、市教育委員会が主催する研修会を行い、校内における授業研究会や実技研修会等に講師を派遣します。
合計	12,702	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 05 年度	令和 06 年度
佐倉市教育委員会主催研修の参加者数	2,000 人	2,000 人	2,000 人
講師招聘による校内授業研修会を実施した学校数	34 校	34 校	34 校
授業公開の実施学校数	34 校	34 校	34 校
参加者の主観的研修評価	4.5 点	4.5 点	4.5 点
教職員の研修会及び研究大会等の参加率	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 経常経費		
事業名	513	教育課題研究事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・佐倉市の教育課題や自校の教育課題に関する研究、指導方法の改善の研究及び教職員の指導技術の向上を目指すための研究等を行います。 ・研究指定校や研究モデル校が公開研究会を開催し、その研究成果を市内外に広めます。 ・児童生徒や市民が最先端の科学に接する「楽しい科学教室」を開催します。 ・学校教育表彰を実施し、児童生徒、教職員、市民の意欲の向上を図ります。
事業の目的	・研修の推進により、教職員の資質向上と専門性を高め、学力向上及び心身共に健康な児童生徒を育成します。 ・教職員が研修を通して授業改善・指導力の向上に意欲的に取り組み、児童生徒の人生を拓く確かな学力の育成を目指します。 ・「楽しい科学教室」により、科学の面白さと、科学に対する興味や関心を高めます。 ・学校教育表彰により社会で活躍する人材の育成を目指します。
事業の効果	・研究学校の推進や公開研究会の開催により、佐倉市全体へ研究の成果が広がります。 ・研究モデル校指定により、各学校の実態や特色を生かした研究を推進・発展につながります。 ・「楽しい科学教室」の継続開催により、科学技術・理科教育の振興が図られます。 ・学校教育表彰の受賞による意欲の向上が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	4,953	・研究指定校や研究モデル校を指定し、小中学校教育課程の効果的な展開、学校指導の内容や指導方法の改善等を図ります。 ・小中学校で公開研究会を開催します。 ・科学への関心を高める「楽しい科学教室」を開催します。 ・児童生徒や教職員、学校支援者の活躍や功績を讃え、佐倉市学校教育表彰式を開催します。 ・学校運営委員会を開催し地域の力を生かす教育を推進します。
令和05年度	4,953	・研究指定校や研究モデル校を指定し、小中学校教育課程の効果的な展開、学校指導の内容や指導方法の改善等を図ります。 ・小中学校で公開研究会を開催します。 ・科学への関心を高める「楽しい科学教室」を開催します。 ・児童生徒や教職員、学校支援者の活躍や功績を讃え、佐倉市学校教育表彰式を開催します。 ・学校運営委員会を開催し地域の力を生かす教育を推進します。
令和06年度	4,953	・研究指定校や研究モデル校を指定し、小中学校教育課程の効果的な展開、学校指導の内容や指導方法の改善等を図ります。 ・小中学校で公開研究会を開催します。 ・科学への関心を高める「楽しい科学教室」を開催します。 ・児童生徒や教職員、学校支援者の活躍や功績を讃え、佐倉市学校教育表彰式を開催します。 ・学校運営委員会を開催し地域の力を生かす教育を推進します。
合計	14,859	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
佐倉市研究指定校及び研究モデル校数	34校	34校	34校
公開研究会の開催校数	34校	34校	34校
研究刊行物・報告書等の作成校数	34校	34校	34校
「楽しい科学教室」の参加者数	400人	400人	400人
公開研究会に教職員が参加した学校数	34校	34校	34校
研究刊行物・報告書等の活用校数	34校	34校	34校

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 臨時経費		
事業名	616	英語・外国語活動推進事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・各中学校に1人、英語指導助手を配置し、英会話指導、国際理解推進を行います。 ・小学校にも派遣し、外国語活動を中心にネイティブな英語に慣れ親しむとともに、国際理解教育を行います。 ・小中学校の教員の英語の指導力の向上を目指した研修を行います。
事業の目的	・国際化の進展により、国際理解教育・英語教育の重要性が増している中、外国語指導助手を授業などで活用することにより、より実践的なコミュニケーション能力の育成や国際理解を深めます。 ・日本人教諭の指導力と語学力を磨くための講師としての役割も果たします。
事業の効果	・中学校での英語科の習熟度別・課題別学習の推進が図られます。 ・小学校での外国語活動、国際理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成が図られます。 ・小中学校の教員の英語の指導力が向上します。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	105,187	・ALTを任用し、小中学校へ派遣します。 ・小中学校の教員の英語の指導力の向上を目指した研修を行います。
令和05年度	105,187	・ALTを任用し、小中学校へ派遣します。 ・小中学校の教員の英語の指導力の向上を目指した研修を行います。
令和06年度	105,187	・ALTを任用し、小中学校へ派遣します。 ・小中学校の教員の英語の指導力の向上を目指した研修を行います。
合計	315,561	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
A L T の 配 置 人 数	21人	21人	21人
A L T 研 修 会 の 実 施 回 数	5回	5回	5回
夏季小中学校教員の英語の指導力向上研修の開催日数	2回	2回	2回
学 校 に よ る A L T 評 価	3回	3回	3回
A L T に よ る 年 間 授 業 時 間 数	700時間	700時間	700時間
児童生徒1人あたりが7年間にALTから受ける授業時間数	245時間	245時間	245時間
夏休み英語教室の参加児童数	80人	80人	80人

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9 款-1 項-3 目 / 臨時経費		
事業名	617	日本語適応指導事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和 04 年度～令和 06 年度

【実施計画の概要】

事業の内容	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に月 4 回程度、外国語の話せる日本語適応指導員を派遣します。
事業の目的	日本語指導が必要な児童生徒等の増加等を踏まえ、これらの児童生徒に対し適応指導・日本語指導を行うとともに、関係機関と連携し、受入体制を整備するなど、学校全体できめ細かな対応を図ることが重要です。本事業では、日本語指導が必要な児童生徒の学校生活への適応を図るとともに、外国における生活経験を生かしながら適切な指導を行い、日本語の習得や教科指導、不適応の問題などに対応することを目的とします。
事業の効果	・学習指導・生活指導の円滑化が図られるとともに、教育相談の効果が向上します。 ・日本語を理解できない保護者の学校理解にも役立ちます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和 04 年度	4,600	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に外国語の話せる日本語適応指導員を派遣します。
令和 05 年度	3,800	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に外国語の話せる日本語適応指導員を派遣します。
令和 06 年度	3,800	帰国子女や外国人児童生徒の指導方法充実のため、学校に外国語の話せる日本語適応指導員を派遣します。
合計	12,200	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年 度	令和 05 年 度	令和 06 年 度
依頼に応じて派遣した指導員数	20 人	20 人	20 人
日本語適応指導事業を実施した学校数	実施が必要な学校数	実施が必要な学校数	実施が必要な学校数
日本語適応指導を受けた児童生徒数	実施が必要な児童生徒数	実施が必要な児童生徒数	実施が必要な児童生徒数
日本語適応の実施回数	920 回	760 回	760 回
成果報告の割合	100%	100%	100%
本事業により日本語を習得することができた児童生徒の割合	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 経常経費		
事業名	9557	教育指導書等作成事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	佐倉市についての学習の理解をより深めるために作成した社会科副読本を小学校3、4年生に配付し、社会科において地域を学ぶ学習を行います。
事業の目的	これからの社会を生きぬく児童生徒を育成するためには、社会を生きるための基礎・基本を確実に身に付けることが大切であり、小学校3、4年生の社会科においては、地域を学ぶことがその点において、重要な学習となります。そこで、佐倉市や千葉県に関する資料をまとめた副読本を授業で活用することにより地域学習における興味・関心を高めるとともに、知識を深めることができるようにしたいと考えます。
事業の効果	副読本により、児童の佐倉市、千葉県についての興味・関心が高まり、地域の学習が深まります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	795	社会科副読本を小学校3、4年生全児童に配付し、社会科において地域学習を行います。
令和05年度	795	社会科副読本を小学校3、4年生全児童に配付し、社会科において地域学習を行います。
令和06年度	795	社会科副読本を小学校3、4年生全児童に配付し、社会科において地域学習を行います。
合計	2,385	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
社会科副読本を活用している学校数	23校	23校	23校
社会科副読本の活用を年間指導計画に位置づけている学校数	23校	23校	23校
掲載施設の見学を実施している学校数	23校	23校	23校
社会科現地学習の事前・事後学習で社会科副読本を活用している学校数	23校	23校	23校
社会科副読本印刷数の割合	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 臨時経費		
事業名	9716	理科教育推進事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・小学校の理科教育の充実のために理科教育推進支援員を佐倉市で新たに雇用し小学校に配置します。 ・同一校に2年連続して配置し、校内における理科教育の推進に寄与します。
事業の目的	・児童の理科学習に対する興味や関心を高め、実験や観察等の学習活動が十分に展開できるよう理科室等の整備を一層推進します。 ・学校の理科教育の充実を図り小学校における理科教育活動を支援します。
事業の効果	・理科授業の内容の充実を図ることができます。 ・観察、実験の充実により、理科好きな児童の割合が増え、科学に対する理解を図ることができます。 ・理科支援員配置による教員の指導力(資質)向上を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	390	理科支援員を1名雇用し2小学校に配置します。
令和05年度	390	理科支援員を1名雇用し2小学校に配置します。
令和06年度	390	理科支援員を1名雇用し2小学校に配置します。
合計	1,170	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
観察・実験を重視する教員の割合	100%	100%	100%
理科授業が好きな児童の割合	85%	85%	85%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策1(学力向上・学習内容の充実に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9 款-1 項-4 目 / 臨時経費		
事業名	7381	学習状況調査事業		
担当所属		教育センター	事業期間	令和 04 年度～令和 06 年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・小中学校の学習指導要領に基づく、国語、算数・数学、理科、英語の基礎的な学力の一部について、教育センターで作成した調査問題を通して調査を実施します。 ・国語、算数・数学の知識及び技能を活用する力について、教育センターで作成した調査問題を通して調査を実施します。 ・児童生徒の学習に対する意識や生活習慣等についての意識調査を行います。
事業の目的	・市内小中学校に通う児童生徒の国語、算数・数学、理科、英語の基礎的な学力の一部と、国語、算数・数学の知識及び技能を活用する力について現状を把握し、授業改善を図り、学力の向上をめざします。
事業の効果	・調査結果及びその分析をセンター報告会、報告書、校内研修会等を通じて学校にフィードバックすることにより、学習指導の改善 に寄与できます。さらに、基礎学力向上のために、補習用プリントを作成し、各小中学校で補習や家庭学習の教材として活用しています。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和 04 年度	746	・学習状況調査作成委員会を年間 4 回開催し、調査問題を作成します。 ・市内小中学校に通う児童生徒に調査を行います。 ・調査結果を集計・分析して、報告書を作成し、各小中学校に配付します。
令和 05 年度	746	・学習状況調査作成委員会を年間 4 回開催し、調査問題を作成します。 ・市内小中学校に通う児童生徒に調査を行います。 ・調査結果を集計・分析して、報告書を作成し、各小中学校に配付します。
令和 06 年度	746	・学習状況調査作成委員会を年間 4 回開催し、調査問題を作成します。 ・市内小中学校に通う児童生徒に調査を行います。 ・調査結果を集計・分析して、報告書を作成し、各小中学校に配付します。
合計	2,238	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 05 年度	令和 06 年度
教育課題調査・報告件数	3 件	3 件	3 件
学習状況調査の調査問題作成のための委員会開催回数	4 回	4 回	4 回
調査正答率（小 1～6 基礎学力）	90%	90%	90%
調査正答率（中 1～中 3 基礎学力）	90%	90%	90%
調査正答率（小 5・6 活用力）	70%	70%	70%
調査正答率（中 1～3 活用力）	70%	70%	70%
調査正答率（小 3～中 3 理）	80%	80%	80%
調査正答率（小 5～中 3 英）	80%	80%	80%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策2(豊かな人間性を育む教育に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-6項-1目 / 経常経費		
事業名	209	学校体育振興事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・児童生徒の体力向上にむけて、佐倉市文化祭小中体育大会を企画運営します。 ・教員の指導力と資質の向上を図るため、実情や課題にあった実技研修を実施します。
事業の目的	・佐倉市文化祭小中体育大会を通して児童生徒の体力向上を図ります。 ・実技研修を通して教員の指導力、資質の向上に努めます。
事業の効果	・各学校で年間を通して小中体育大会の練習に取り組むことにより、児童生徒の体力向上に寄与します。 ・実技研修会で、学習指導要領に則った内容を意図的、計画的に実施することにより、教員の指導力向上につながります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	5,674	・佐倉市文化祭小中体育大会を実施します。 ・佐倉市体力優良証の交付をします。 ・児童生徒選手派遣事業を実施します。
令和05年度	5,674	・佐倉市文化祭小中体育大会を実施します。 ・佐倉市体力優良証の交付をします。 ・児童生徒選手派遣事業を実施します。
令和06年度	5,674	・佐倉市文化祭小中体育大会を実施します。 ・佐倉市体力優良証の交付をします。 ・児童生徒選手派遣事業を実施します。
合計	17,022	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
文化祭小中体育大会に参加しているクラスの割合	100%	100%	100%
文化祭小中体育大会に参加している児童生徒数	2,350人	2,350人	2,350人
小学校6年生の優勝タイム	55秒	55秒	55秒
小1～4年体力優良証及び小5・6年、中1～3年新体力テストA判定を受けた児童生徒の割合	30%	30%	30%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策2(豊かな人間性を育む教育に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 臨時経費		
事業名	310	社会人活用推進事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	地域資源を積極的に活用し学習効果を高めるため、専門的な知識・技能を有する地域の社会人を講師とした授業を各学校で実施します。
事業の目的	社会人との交流を深め、心豊かな児童生徒の育成や地域に開かれた学校作りを推進します。
事業の効果	稲作作りや野菜作りなどの体験学習を行ったり、地域の文化に触れたり、戦争体験を聞いたりするなど、貴重な学習活動を推進することができるとともに、地域の教育力を向上させることができます。さらに部活動指導などを通して生徒の技能を高めることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	750	地域の社会人を講師とした授業を各学校で実施します。
令和05年度	750	地域の社会人を講師とした授業を各学校で実施します。
令和06年度	750	地域の社会人を講師とした授業を各学校で実施します。
合計	2,250	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
社会人活用講師人数	675人	675人	675人
社会人を活用した授業を位置づけている学校数	32校	32校	32校
年間社会人活用授業回数	必要な回数実施	必要な回数実施	必要な回数実施

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策2(豊かな人間性を育む教育に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 経常経費		
事業名	756	児童生徒等校外活動事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	児童生徒が学校を離れ、他校の児童生徒と交流をしたり、自然に親しませたり、佐倉市内の諸施設を見学したりする活動により、環境教育、国際理解教育、情操教育、科学技術教育等の各分野をより深く学習したりする活動の支援を行います。
事業の目的	児童生徒が体験的な学習を行うことにより、主体的に学習に取り組む能力を身に付け、学ぶことの楽しさや成就感を味わわせます。
事業の効果	・児童が市内の施設を見学することにより、佐倉市の特色の理解を深め、郷土を愛する気持ちが育ちます。 ・事前学習や事後学習で体験的な学習の内容を深めることで、社会科、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動等の授業が充実します。 ・豊かな心を育み、学習意欲が向上し、郷土で活躍できる人材の輩出につながります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	5,441	児童生徒が学校を離れ、他校の児童生徒と交流をしたり、自然に親しませたり、佐倉市内の諸施設を見学したりする活動により、環境教育、国際理解教育、情操教育、科学技術教育等の各分野をより深く学習したりする活動の支援を行います。
令和05年度	5,441	児童生徒が学校を離れ、他校の児童生徒と交流をしたり、自然に親しませたり、佐倉市内の諸施設を見学したりする活動により、環境教育、国際理解教育、情操教育、科学技術教育等の各分野をより深く学習したりする活動の支援を行います。
令和06年度	5,441	児童生徒が学校を離れ、他校の児童生徒と交流をしたり、自然に親しませたり、佐倉市内の諸施設を見学したりする活動により、環境教育、国際理解教育、情操教育、科学技術教育等の各分野をより深く学習したりする活動の支援を行います。
合計	16,323	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
部会音楽会に参加する学校数	34校	34校	34校
小学校社会科現地学習を実施する小学校数	23校	23校	23校
みどりの少年団参加校数	17校	17校	17校
草ぶえの丘を利用した児童生徒等の数	1,500人	1,500人	1,500人
幼小中図画書写作品展参観者数	10,000人	10,000人	10,000人
佐倉少年少女発明クラブの参加者数	20人	20人	20人

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策2(豊かな人間性を育む教育に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9 款-1 項-3 目 / 経常経費		
事業名	876	佐倉学推進事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和 04 年度～令和 06 年度

【実施計画の概要】

事業の内容	佐倉学副読本を佐倉学通史及び自然環境資料として児童生徒に配付し、全小中学校で活用することにより、児童生徒に豊かな感性と人格を育て、郷土に対する理解と誇りをもち、郷土を愛する心を育てます。
事業の目的	佐倉学副読本の活用により、「好学進取」の気風や、郷土への理解、郷土を愛する心を育み、国際社会で活躍する人づくりを目指します。
事業の効果	・社会科、総合的な学習の時間等の授業が充実します。 ・「好学進取」の気風により、豊かな心や新たな学習意欲を育み、社会の発展に貢献できる人材の輩出につながります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和 04 年度	881	佐倉学副読本を佐倉学通史及び自然環境資料として児童生徒に配付し、全小中学校で活用することにより、児童生徒に豊かな感性と人格を育て、郷土に対する理解と誇りをもち、郷土を愛する心を育てます。
令和 05 年度	881	佐倉学副読本を佐倉学通史及び自然環境資料として児童生徒に配付し、全小中学校で活用することにより、児童生徒に豊かな感性と人格を育て、郷土に対する理解と誇りをもち、郷土を愛する心を育てます。
令和 06 年度	881	佐倉学副読本を佐倉学通史及び自然環境資料として児童生徒に配付し、全小中学校で活用することにより、児童生徒に豊かな感性と人格を育て、郷土に対する理解と誇りをもち、郷土を愛する心を育てます。
合計	2,643	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 05 年度	令和 06 年度
佐倉学に取り組んでいる学校数	34 校	34 校	34 校
佐倉学副読本印刷(増刷)数の割合	100%	100%	100%
佐倉学副読本を授業等で活用している学校数	34 校	34 校	34 校
佐倉の歴史や自然に興味があると回答する児童生徒の割合	70%	70%	70%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策2(豊かな人間性を育む教育に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 経常経費		
事業名	9291	キャリア教育事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	学校におけるキャリア教育の研究指定等を行い、望ましいキャリア教育の先進研究を進めます。また、小中学校の職場体験学習充実のため、各事業所との連携を図ります。
事業の目的	子どもたちが将来の生き方や進路に夢や希望を持ち、その実現を目指して、学校での生活や学びに意欲的に取り組み、社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度を身に付けることを目的とします。
事業の効果	子どもたちが社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等についてしっかりと考える機会が与えられます。また、職場体験を通じて、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定へと導くことが期待できます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	150	・各校の職場体験学習実施状況を把握し、より効果的な職場体験学習が実施できるよう各校へのアンケートを実施します。 ・全小中学校でキャリア教育の全体計画を作成します。 ・東邦大学と連携し、中学生を対象とした模擬手術体験学習(ブラックジャックセミナー)を実施します。
令和05年度	150	・各校の職場体験学習実施状況を把握し、より効果的な職場体験学習が実施できるよう各校へのアンケートを実施します。 ・全小中学校でキャリア教育の全体計画を作成します。 ・東邦大学と連携し、中学生を対象とした模擬手術体験学習(ブラックジャックセミナー)を実施します。
令和06年度	150	・各校の職場体験学習実施状況を把握し、より効果的な職場体験学習が実施できるよう各校へのアンケートを実施します。 ・全小中学校でキャリア教育の全体計画を作成します。 ・東邦大学と連携し、中学生を対象とした模擬手術体験学習(ブラックジャックセミナー)を実施します。
合計	450	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
キャリア教育に取り組む学校数	34校	34校	34校
職場体験の実施校	34校	34校	34校
外部人材を効果的に活用している学校の割合	100%	100%	100%
身の回りの働く人々の話を聞く機会をつくっている学校数	34校	34校	34校
自校の取組について適切に評価を行っている学校数	34校	34校	34校

総合計画の位置付け		第4章-基本施策1-施策2(豊かな人間性を育む教育に取り組みます)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-4目 / 臨時経費		
事業名	7509	道徳教育推進事業		
担当所属		教育センター	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・市内小中学校に配付した副読本や指導資料を道徳の時間に活用するよう働きかけます。 ・道徳教材検討委員会を開き、資料等のより効果的な活用の仕方について各学校に情報提供します。さらに、佐倉を素材とした新たな道徳教材の開発・作成を行います。
事業の目的	市内小中学生の道徳意識の現状と課題を踏まえ、佐倉市ゆかりの先人や佐倉を素材とした教材を作成し、活用を推進することで、子どもたちが豊かな心を育み、人間としての生き方の自覚を深め、心の教育の充実が図られるようにします。
事業の効果	充実した道徳教育を継続して行うことで、市内小中学校に通う児童生徒に豊かな心が育まれます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	274	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査・分析します。 ・これまでに開発した佐倉学道徳教材及び指導案を学習指導要領に合致した内容となるよう改善を図り、各小中学校に配信していきます。 ・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」を学習指導要領に合致した内容となるよう改訂し、製本し各小中学校へ配付します。
令和05年度	0	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査・分析します。 ・これまでに開発した佐倉学道徳教材及び指導案を学習指導要領に合致した内容となるよう改善を図り、各小中学校に配信していきます。 ・改訂した佐倉学道徳副読本を活用できるよう、指導案の例を、各小中学校に配信していきます。
令和06年度	0	・佐倉学道徳副読本「佐倉の道徳」及び佐倉学道徳教材の活用状況を調査・分析します。 ・これまでに開発した佐倉学道徳教材及び指導案を学習指導要領に合致した内容となるよう改善を図り、各小中学校に配信していきます。 ・改訂した佐倉学道徳副読本を活用できるよう、指導案の例などを、研修会等で広めていきます。
合計	274	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
副読本及び教材を活用した道徳授業実施校数	34校	34校	34校
学習意識等に関する調査による肯定的回答率	90%	90%	90%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-3目 / 臨時経費		
事業名	506	小学校施設改築・改造事業		
担当所属		教育総務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・施設の危険防止対策を推進します。 ・老朽化した施設の更新を行います。 ・建物の賃貸借を行います。 ・施設の質的向上を図ります。
事業の目的	・教育施設の安全性が向上します。また、避難場所としてより安全に使用できます。 ・必要な教室数を確保します。
事業の効果	・安全・安心な教育環境を確保することができます。 ・必要な教室数を確保することにより、円滑な学校運営を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	795,847	・校舎の賃貸借を行います。(井野小、志津小、青菅小) ・老朽化した施設設備の更新を行います。 ・老朽化した屋根、外壁、床の改修を行います。 ・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行います。 ・校舎の耐力度調査を行います。(内郷小) ・体育館の予防保全改修を行います。(根郷小) ・老朽化したトイレの全面改修を行います。(下志津小外5校) ・体育館照明のLED化を行います。
令和05年度	557,679	・校舎の賃貸借を行います。(井野小、志津小、青菅小) ・老朽化した施設設備の更新を行います。 ・老朽化した屋根、外壁、床の改修を行います。 ・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行います。 ・老朽化した校舎の長寿命化改修設計を行います。(内郷小) ・校舎の予防保全改修を行います。(千代田小、西志津小) ・老朽化したトイレの全面改修を行います。(小竹小外2校) ・体育館のLED照明の維持管理を行います。
令和06年度	328,242	・校舎の賃貸借を行います。(井野小、志津小、青菅小) ・老朽化した施設設備の更新を行います。 ・老朽化した屋根、外壁の改修を行います。 ・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行います。 ・老朽化したトイレの全面改修を行います。(西志津小外1校) ・体育館のLED照明の維持管理を行います。
合計	1,681,768	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
小学校校舎・体育館のトイレ洋式化実施校数	5校	2校	1校
小学校校舎・体育館のトイレ洋式化率	85%	90%	95%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-3項-3目 / 臨時経費		
事業名	7628	中学校施設改築・改造事業		
担当所属		教育総務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・施設の危険防止対策を推進します。 ・老朽化した施設の更新を行います。 ・施設の衛生環境の向上を図ります。
事業の目的	教育施設の安全性が向上します。また、避難場所としてより安全に使用できます。
事業の効果	安全・安心な教育環境を確保することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	88,648	・老朽化した施設設備の更新を行います。 ・老朽化した床の改修を行います。 ・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行います。 ・校舎の耐力度調査を行います。(志津中外1校) ・老朽化したトイレの改修設計を行います。(井野中外3校) ・体育館照明のLED化を行います。
令和05年度	547,387	・老朽化した施設設備の更新を行います。 ・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行います。 ・老朽化した校舎の長寿命化改修設計を行います。(南部中) ・老朽化したトイレの改修設計を行います。(臼井西中外4校) ・老朽化したトイレの全面改修を行います。(井野中外3校) ・体育館のLED照明の維持管理を行います。
令和06年度	914,190	・普通教室へ整備した空調設備の維持管理を行います。 ・老朽化した校舎の長寿命化改修を行います。(南部中) ・老朽化したトイレの改修設計を行います。(佐倉中外1校) ・老朽化したトイレの全面改修を行います。(臼井西中外4校) ・体育館のLED照明の維持管理を行います。
合計	1,550,225	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
中学校校舎・体育館のトイレ洋式化実施校数	0校	4校	5校
中学校校舎・体育館のトイレ洋式化率	39%	65%	90%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-3目 / 臨時経費		
事業名	9286	小学校体育施設整備事業		
担当所属		教育総務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	運動場の表層又は排水設備等の改良を行います。
事業の目的	教育環境に適した、かつ、周辺環境へ配慮した運動場とするため、表層の改良等を行うことで、教育環境の向上と周辺環境への影響の低減を図ります。 ・構造…平滑で適度な弾力性、適度の保水性と良好な排水性を確保します。 ・表層の材質…けがの防止、ほこり発生防止に配慮します。
事業の効果	教育環境に適した構造及び仕様の運動場とすることで、運動使用時の子どもたちの安全性が向上します。また、周辺環境への影響が低減されます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	26,272	千代田小学校運動場の表層を改良し良好な状態にします。
令和05年度	-	-
令和06年度	30,330	根郷小学校運動場の表層を改良し良好な状態にします。
合計	56,602	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
小学校グラウンドの改良数	1校	0校	1校
小学校グラウンド改良率	36%	36%	45%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 / 臨時経費		
事業名	9288	中学校体育施設整備事業		
担当所属		教育総務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	運動場の表層又は排水設備等の改良を行います。
事業の目的	教育環境に適した、かつ、周辺環境へ配慮した運動場とするため、表層の改良等を行うことで、教育環境の向上と周辺環境への影響の低減を図ります。 ・構造…平滑で適度な弾力性、適度の保水性と良好な排水性を確保します。 ・表層の材質…けがの防止、ほこり発生防止に配慮します。
事業の効果	教育環境に適した構造及び仕様の運動場とすることで、運動使用時の子どもたちの安全性が向上します。また、周辺環境への影響が低減されます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	-	-
令和05年度	35,244	南部中学校の表層を改良し良好な状態にします。
令和06年度	-	-
合計	35,244	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
中学校グラウンドの改良数	0校	1校	0校
中学校グラウンド改良率	50%	75%	75%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-4項-1目 / 臨時経費		
事業名	11908	幼稚園施設改修事業		
担当所属		教育総務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	幼稚園の施設、設備等の改修を行います。
事業の目的	幼稚園施設の適切な維持管理及び更新を行います。
事業の効果	幼稚園施設の適切な維持管理及び更新により、快適で安心・安全な教育環境の確保が図られます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	41,539	・老朽化した施設設備の更新を行います。 ・保育室へ整備した空調設備の維持管理を行います。 ・老朽化したトイレの全面改修を行います。(佐倉幼、弥富幼)
令和05年度	489	・保育室へ整備した空調設備の維持管理を行います。
令和06年度	489	・保育室へ整備した空調設備の維持管理を行います。
合計	42,517	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
幼稚園の改修数	2園	0園	0園
幼稚園の改修率	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)	
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-2目 / 臨時経費	
事業名	419	小学校情報機器整備事業	
担当所属		学務課	事業期間 令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・小学校で使用する情報機器(パソコン、プリンター、NAS、ネットワーク機器、電子黒板等)を整備し、運用管理を行います。 ・パソコン関係のソフトウェア、消耗品等(プリンタートナー・インク・用紙)を購入します。
事業の目的	コンピュータ等の情報機器を活用した校務環境、学習環境の整備・充実を図り、小学校における情報教育の推進を図ります。
事業の効果	・コンピュータ等の情報機器を利用した教育を行うことで、児童が情報社会における基本的な考え方を身につけることができます。 ・教職員が情報機器を利用することにより、情報共有や情報管理がしやすくなり、効率的に校務を行うことができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	206,252	・小学校で使用するパソコン機器等(サーバー、パソコン、電子黒板、プリンター、スイッチングハブ、無線 LAN アクセスポイント、ソフトウェア)を導入し、コンピューター利用教育が実施できる環境を構築します。 ・パソコン関係の消耗品等を購入します。 ・文科省策定のガイドラインに基づくセキュリティ強靱化対応 ・GIGA スクール構想に基づく ICT を活用した学習環境の実現
令和05年度	205,847	・小学校で使用するパソコン機器等(サーバー、パソコン、電子黒板、プリンター、スイッチングハブ、無線 LAN アクセスポイント、ソフトウェア)を導入し、コンピューター利用教育が実施できる環境を構築します。 ・パソコン関係の消耗品等を購入します。 ・文科省策定のガイドラインに基づくセキュリティ強靱化対応 ・GIGA スクール構想に基づく ICT を活用した学習環境の実現
令和06年度	206,538	・小学校で使用するパソコン機器等(サーバー、パソコン、電子黒板、プリンター、スイッチングハブ、無線 LAN アクセスポイント、ソフトウェア)を導入し、コンピューター利用教育が実施できる環境を構築します。 ・パソコン関係の消耗品等を購入します。 ・文科省策定のガイドラインに基づくセキュリティ強靱化対応 ・GIGA スクール構想に基づく ICT を活用した学習環境の実現
合計	618,637	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
パソコン更新・整備台数	9,650台	9,650台	9,650台
コンピュータ利用教育時数	70時数	105時数	105時数
1校当たりの大型提示装置の数	3台	3台	3台
パソコン1台当たりの児童・生徒人数	1人	1人	1人

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9 款-3 項-2 目 / 臨時経費		
事業名	511	中学校情報機器整備事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和 04 年度～令和 06 年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・中学校で使用する情報機器(パソコン、プリンター、NAS、ネットワーク機器、電子黒板等)を整備し、運用管理を行います。 ・パソコン関係のソフトウェア、消耗品等(プリンタートナー・インク・用紙)を購入します。
事業の目的	コンピュータ等の情報機器を活用した校務環境、学習環境の整備・充実を図り、中学校における情報教育の推進を図ります。
事業の効果	・コンピュータ等の情報機器を利用した教育を行うことで、生徒が情報社会における基本的な考え方を身につけることができます。 ・教職員が情報機器を利用することにより、情報共有や情報管理がしやすくなり、効率的に校務を行うことができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和 04 年度	104,370	・中学校で使用するパソコン機器等(サーバー、パソコン、電子黒板、プリンター、スイッチングハブ、無線 LAN アクセスポイント、ソフトウェア)を導入し、コンピューター利用教育が実施できる環境を構築します。 ・パソコン関係の消耗品等を購入します。 ・文科省策定のガイドラインに基づくセキュリティ強靱化対応 ・GIGA スクール構想に基づく ICT を活用した学習環境の実現
令和 05 年度	104,176	・中学校で使用するパソコン機器等(サーバー、パソコン、電子黒板、プリンター、スイッチングハブ、無線 LAN アクセスポイント、ソフトウェア)を導入し、コンピューター利用教育が実施できる環境を構築します。 ・パソコン関係の消耗品等を購入します。 ・文科省策定のガイドラインに基づくセキュリティ強靱化対応 ・GIGA スクール構想に基づく ICT を活用した学習環境の実現
令和 06 年度	104,513	・中学校で使用するパソコン機器等(サーバー、パソコン、電子黒板、プリンター、スイッチングハブ、無線 LAN アクセスポイント、ソフトウェア)を導入し、コンピューター利用教育が実施できる環境を構築します。 ・パソコン関係の消耗品等を購入します。 ・文科省策定のガイドラインに基づくセキュリティ強靱化対応 ・GIGA スクール構想に基づく ICT を活用した学習環境の実現
合計	313,059	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 05 年度	令和 06 年度
パソコン更新・整備台数	4,832 台	4,832 台	4,832 台
コンピュータ利用教育時数	68 時数	102 時数	102 時数
1 校当たりの大型掲示装置の数	3 台	3 台	3 台
パソコン 1 台当たりの児童・生徒人数	1 人	1 人	1 人

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-2目 / 臨時経費		
事業名	873	小規模特認校学習支援事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	弥富小学校及び和田小学校では、学区内児童数の減少により学級編制基準を下回っていることから、小規模特認校制度を活用し、市内全域から児童を受け入れるとともに、複式学級化を解消するため、学校支援補助教員を配置します。
事業の目的	・市内全域から児童を受け入れることにより、一学年一学級を維持します。 ・少人数によるきめ細かな指導を行います。
事業の効果	自然に恵まれた豊かな環境の中で、少人数によるきめ細かい指導及び地域と連携した教育活動を推進し、一人一人の児童に確かな学力と豊かな心を育てます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	8,070	弥富小学校・和田小学校に学校支援補助教員を配置します。 また、小規模特認校制度の周知・広報と転入生の募集活動を行います
令和05年度	7,970	弥富小学校・和田小学校に学校支援補助教員を配置します。 また、小規模特認校制度の周知・広報と転入生の募集活動を行います。
令和06年度	7,970	弥富小学校・和田小学校に学校支援補助教員を配置します。 また、小規模特認校制度の周知・広報と転入生の募集活動を行います。
合計	24,010	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
学校支援補助教員配置数	2人	2人	2人
区域外転入学児童数	12人	12人	12人

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-2目 / 臨時経費		
事業名	7594	小学校図書館図書整備事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・古くなり使えなくなった本や、情報そのものが古くなってしまった本の除籍を行い、蔵書の質の維持を図ります。 ・蔵書数が不足することのないように、各学校に適切に予算配分を行い、計画的に新しい図書を購入します。 ・児童が目的の図書を探しやすくなるように工夫をします。
事業の目的	子どもの読書活動、学習活動を支える学校図書館の機能を向上させることにより、情報や知識を活用して様々な問題に積極的に対応していく力をつけるための、学びの環境の充実を図ります。
事業の効果	小学校の図書館を整備し、児童が自ら進んで読書や情報収集を行う環境を整えることにより、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、これからの社会で必要とされる、知識を取捨選択し活用する力を育てます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	6,951	・課題図書等の新規購入や除籍分の補充を行います。 ・日本十進分類法に基づく背ラベルの貼り付けを行うことで目的の本を探しやすくします。 ・必要に応じて使えなくなった図書の除籍を行います。 ・各学校の学校図書館へ新聞を配備します。
令和05年度	6,951	・課題図書等の新規購入や除籍分の補充を行います。 ・日本十進分類法に基づく背ラベルの貼り付けを行うことで目的の本を探しやすくします。 ・必要に応じて使えなくなった図書の除籍を行います。 ・各学校の学校図書館へ新聞を配備します。
令和06年度	6,951	・課題図書等の新規購入や除籍分の補充を行います。 ・日本十進分類法に基づく背ラベルの貼り付けを行うことで目的の本を探しやすくします。 ・必要に応じて使えなくなった図書の除籍を行います。 ・各学校の学校図書館へ新聞を配備します。
合計	20,853	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
図書購入冊数	3000冊	3000冊	3000冊
除籍冊数	必要に応じて除籍を行う	必要に応じて除籍を行う	必要に応じて除籍を行う
学校図書館図書標準に対する達成率	100%	100%	100%
図書標準達成率100%以上の学校数	23校	23校	23校
児童一人あたりの年間貸出冊数	50冊	50冊	50冊

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-3項-2目 / 臨時経費		
事業名	7597	中学校図書館図書整備事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・古くなり使えなくなった本や、情報そのものが古くなってしまった本の除籍を行い、蔵書の質の維持を図ります。 ・蔵書数が不足することのないように、各学校に対し適切に予算配分を行い、計画的に新しい図書を購入します。 ・生徒が目的の図書を探しやすくなるように工夫をします。
事業の目的	子どもの読書活動、学習活動を支える学校図書館の機能を向上させることにより、情報や知識を活用して様々な問題に積極的に対応していくための、学びの環境の充実を図ります。
事業の効果	中学校の図書館を整備し、生徒が自ら進んで読書や情報収集を行う環境を整えることにより、生徒の豊かな心を育てるとともに、これからの社会で必要とされる、知識を取捨選択し活用する力を育てます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	6,565	・課題図書等の新規購入や除籍分の補充を行います。 ・日本十進分類法に基づく背ラベルの貼り付けを行うことで目的の本を探しやすくします。 ・必要に応じて使えなくなった図書の除籍を行います。 ・各学校の図書館へ新聞を配備します。
令和05年度	6,565	・課題図書等の新規購入や除籍分の補充を行います。 ・日本十進分類法に基づく背ラベルの貼り付けを行うことで目的の本を探しやすくします。 ・必要に応じて使えなくなった図書の除籍を行います。 ・各学校の図書館へ新聞を配備します。
令和06年度	6,565	・課題図書等の新規購入や除籍分の補充を行います。 ・日本十進分類法に基づく背ラベルの貼り付けを行うことで目的の本を探しやすくします。 ・必要に応じて使えなくなった図書の除籍を行います。 ・各学校の図書館へ新聞を配備します。
合計	19,695	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
図書購入冊数	1,500冊	1,500冊	1,500冊
除籍冊数	必要に応じて除籍を行う	必要に応じて除籍を行う	必要に応じて除籍を行う
学校図書館図書標準に対する達成率	100%	100%	100%
図書標準達成率100%以上の学校数	11校	11校	11校
生徒一人あたりの年間貸出冊数	7冊	7冊	7冊

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-2目 / 経常経費		
事業名	9564	小学校教育振興事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
事業の目的	・教職員が効果的な指導を行える環境を整備します。 ・学校教育に必要な環境を整え、児童の主体的かつ意欲的な学習を促進します。
事業の効果	・教職員の指導環境を整えることにより、指導方法の改善や工夫が可能になります。 ・学習環境の整備により、児童の学習効果が高まります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	15,064	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
令和05年度	15,064	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
令和06年度	15,064	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
合計	45,192	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
教材備品の要望照会回数	2回	2回	2回
教材備品購入学校数	23校	23校	23校

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-3項-2目 / 経常経費		
事業名	9567	中学校教育振興事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
事業の目的	・教職員が効果的な指導を行える環境を整備します。 ・学校教育に必要な環境を整え、生徒の主体的かつ意欲的な学習を促進します。
事業の効果	・教職員の指導環境を整えることにより、指導方法の改善や工夫が可能になります。 ・学習環境の整備により、生徒の学習効果が高まります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	11,985	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
令和05年度	11,985	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
令和06年度	11,985	・教育、指導に有益な図書を購入、整備します。 ・理科実験の使用後に生じる不要薬品の処理を行います。 ・学校に整備されている顕微鏡の分解清掃、調整を行います。 ・学校の教材備品、体育用消耗品の整備を行います。
合計	35,955	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
教材備品の要望照会回数	2回	2回	2回
教材備品購入学校数	11校	11校	11校

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 臨時経費		
事業名	9717	少人数指導支援推進事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	多人数(32名以上)の学級を数多く抱える学校等に、少人数学習支援教員を配置します。
事業の目的	児童・生徒数が多い学級を数多く抱える学校に、少人数学習支援教員を配置することにより、少人数指導またはチームティーチングを展開し、児童生徒個々への学習支援を通じて学習の課題を克服させ、一人一人の学力の向上を図ります。
事業の効果	・学習の習熟度に応じて、個別の指導や支援を受けられるので、効果的、効率的に学習内容を理解し、定着させることができます。 ・児童・生徒個々の学習の課題を見極め、課題を克服するよう重点的な支援を受けられるので、学習への苦手意識が薄れ、学習意欲を高められます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	11,684	・3名の教員を臨時的に任用し、3校の小・中学校に配置します。 ・学校では、算数・数学をはじめとした教科の授業において、少人数指導及びチームティーチングを実施して、子どもの学習定着度に応じた個別の指導支援を行います。
令和05年度	11,684	・3名の教員を臨時的に任用し、3校の小・中学校に配置します。 ・学校では、算数・数学をはじめとした教科の授業において、少人数指導及びチームティーチングを実施して、子どもの学習定着度に応じた個別の指導支援を行います。
令和06年度	11,684	・3名の教員を臨時的に任用し、3校の小・中学校に配置します。 ・学校では、算数・数学をはじめとした教科の授業において、少人数指導及びチームティーチングを実施して、子どもの学習定着度に応じた個別の指導支援を行います。
合計	35,052	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
少人数学習支援教員の採用人数	3人	3人	3人
受益者の人数	2,112人	2,112人	2,112人

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-1目 / 経常経費		
事業名	94	小学校保健管理事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・児童の定期・臨時健康診断を実施するとともに、健康診断用の検診機器の購入を行います。 ・学校管理下における災害共済加入を行います。
事業の目的	児童の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、健康診断、感染症の予防その他学校における必要な保健管理を行います。
事業の効果	児童の健康な学校生活と、学校保健活動の円滑な推進が図られ、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	41,701	・学校医・学校歯科医による健康診断を行います。 ・心電図検査、尿検査、脊柱側湾症検査、生活習慣病予防検診などを実施します。 ・学校管理下における災害共済加入を行います。
令和05年度	41,701	・学校医・学校歯科医による健康診断を行います。 ・心電図検査、尿検査、脊柱側湾症検査、生活習慣病予防検診などを実施します。 ・学校管理下における災害共済加入を行います。
令和06年度	41,701	・学校医・学校歯科医による健康診断を行います。 ・心電図検査、尿検査、脊柱側湾症検査、生活習慣病予防検診などを実施します。 ・学校管理下における災害共済加入を行います。
合計	125,103	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
健康診断実施対象者総数	7,910人	7,693人	7,544人
定期健康診断対象者数及び受診者数	7,910人/7,910人	7,693人/7,693人	7,544人/7,544人
就学時健康診断対象者数及び受診者数	1,125人	1,145人	1,027人
給付支給率	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-6項-3目 / 経常経費		
事業名	305	学校給食管理運営事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	小中学校の給食業務委託の業務管理を行うとともに、給食施設設備の保守点検、老朽化した物品などの購入を実施することにより、安心して安全な学校給食を実施します。
事業の目的	栄養豊かなバランスのとれた給食を提供し、児童生徒の健康の保持増進を図るとともに、学校給食における食育の推進を図るため、学校給食の実施に必要な施設及び設備等の維持管理を行い、円滑な学校給食の運営に努めます。
事業の効果	安全で安心な給食運営を実施することにより、児童生徒に対し、栄養バランスのとれた給食を提供することができます。また、施設設備の機能維持により、安全な給食調理作業をすることができます。これらにより、学校給食を活かした食育の推進を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	899,317	・学校給食業務委託を行います。 ・給食施設設備維持管理保守点検業務委託を行います。 ・破損食器等の補充更新を行います。 ・施設設備等修繕を行います。 ・修繕不能備品の更新を行います。 ・栄養教諭及び学校栄養職員等研修を行います。
令和05年度	899,317	・学校給食業務委託を行います。 ・給食施設設備維持管理保守点検業務委託を行います。 ・破損食器等の補充更新を行います。 ・施設設備等修繕を行います。 ・修繕不能備品の更新を行います。 ・栄養教諭及び学校栄養職員等研修を行います。
令和06年度	899,317	・学校給食業務委託を行います。 ・給食施設設備維持管理保守点検業務委託を行います。 ・破損食器等の補充更新を行います。 ・施設設備等修繕を行います。 ・修繕不能備品の更新を行います。 ・栄養教諭及び学校栄養職員等研修を行います。
合計	2,697,951	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
給食を配布した児童生徒数(市内全児童・生徒数)	12,326人	12,326人	12,326人
栄養教諭、学校栄養職員研修会開催回数	7回	7回	7回
給食提供数(小・中)	1,670,000食・790,000食	1,670,000食・790,000食	1,670,000食・790,000食
地元産食材の給食使用品目数	45品目	45品目	45品目
栄養教諭、学校栄養職員研修会出席者数	238人	238人	238人
米飯給食実施回数	4回	4回	4回
地元産食材の使用割合	20.0%	20.5%	21.0%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-3項-1目 / 経常経費		
事業名	759	中学校保健管理事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	- 生徒の定期・臨時健康診断を実施するとともに、健康診断用の検診機器の購入を行います。 - 学校管理下における災害共済加入を行います。
事業の目的	生徒の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、健康診断、感染症の予防その他学校における必要な保健管理を行います。
事業の効果	生徒の健康な学校生活と、学校保健活動の円滑な推進が図られ、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	23,260	- 学校医・学校歯科医による健康診断を行います。 - 心電図検査、尿検査、脊柱側湾症検査、生活習慣病予防検診などを実施します。 - 学校管理下における災害共済加入を行います。
令和05年度	23,260	- 学校医・学校歯科医による健康診断を行います。 - 心電図検査、尿検査、脊柱側湾症検査、生活習慣病予防検診などを実施します。 - 学校管理下における災害共済加入を行います。
令和06年度	23,260	- 学校医・学校歯科医による健康診断を行います。 - 心電図検査、尿検査、脊柱側湾症検査、生活習慣病予防検診などを実施します。 - 学校管理下における災害共済加入を行います。
合計	69,780	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
健康診断実施対象者生徒総数	4,285人	4,237人	4,239人
定期健康診断対象者数及び受診者数	4,285人/4,285人	4,237人/4,237人	4,239人/4,239人
給付支給率	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-4項-1目 / 経常経費		
事業名	760	幼稚園保健管理事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・園児の定期・臨時健康診断を実施します。 ・園管理下における災害共済加入を行います。
事業の目的	園児の健康の保持増進を図り、幼稚園教育の円滑な実施とその成果の確保に資するため、健康診断、感染症の予防その他幼稚園における必要な保健管理を行います。
事業の効果	園児の健康な幼稚園生活と、幼稚園保健活動の円滑な推進が図られ、幼稚園教育の円滑な実施とその成果の確保に資することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	770	・園医・園歯科医による健康診断を行います。 ・尿検査を実施します。 ・園管理下における災害共済加入を行います。
令和05年度	770	・園医・園歯科医による健康診断を行います。 ・尿検査を実施します。 ・園管理下における災害共済加入を行います。
令和06年度	770	・園医・園歯科医による健康診断を行います。 ・尿検査を実施します。 ・園管理下における災害共済加入を行います。
合計	2,310	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
健康診断実施総数	50人	50人	50人
災害共済加入率	100%	100%	100%
健康診断対象者数及び受診者数	50人 / 50人	50人 / 50人	50人 / 50人
給付支給率	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-6項-3目 / 臨時経費		
事業名	9292	小学校給食施設整備事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	經常の維持管理補修等では対応することができない、給食施設の維持補修及び学校給食衛生管理基準に適合する施設への改修、改築等、並びに老朽化した大型給食設備備品の買替えや機能向上のための更新等を行います。
事業の目的	給食施設設備の維持補修、改修、更新等を行い、衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、円滑な学校給食運営を図り、もって食育の推進に寄与し、児童の健康の保持増進を図ることを目的とします。
事業の効果	衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、調理作業の安全性向上や効率化等が図られ、安全・安心な学校給食を提供することができ、円滑な学校給食運営及びアレルギーをもつ児童への対応や食育の充実を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	24,208	南志津小学校給湯管配管改修工事、食器消毒保管庫購入外、小学校の給食維持管理を行います。
令和05年度	1,804	小学校の給食維持管理を行います。(毎年度更新機器を精査し、要求します。)
令和06年度	0	小学校の給食維持管理を行います。(毎年度更新機器を精査し、要求します。)
合計	26,012	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
給食を配布した児童数	7,905人	7,689人	7,528人
学校からの備品購入要望件数	20件	20件	20件
給食事故発生件数	0件	0件	0件
学校要望に対する達成率	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-6項-3目 / 臨時経費		
事業名	9293	中学校給食施設整備事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	經常の維持管理補修では対応することができない、給食施設の維持補修及び学校給食衛生管理基準に適合する施設への改修、改築等、並びに老朽化した大型給食設備備品の買替えや機能向上のための更新等を行います。
事業の目的	給食施設設備の維持補修、改修、更新等を行い、衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、円滑な学校給食運営を図り、もって食育の推進に寄与し、生徒の健康の保持増進を図ることを目的とします。
事業の効果	衛生的、機能的な給食施設設備を実現することにより、調理作業の安全性向上や効率化等が図られ、安全・安心な学校給食を提供することができ、円滑な学校給食運営及びアレルギーをもつ生徒への対応や食育の充実を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	6,530	食器消毒保管庫購入外、中学校の給食維持管理を行います。
令和05年度	902	中学校の給食維持管理を行います。(毎年度更新機器を精査し、要求します。)
令和06年度	0	中学校の給食維持管理を行います。(毎年度更新機器を精査し、要求します。)
合計	7,432	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
給食を配布した児童数	4,285人	4,235人	4,240人
学校からの備品購入要望件数	22件	22件	22件
給食事故発生件数	0件	0件	0件
学校要望に対する達成率	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-6項-1目 / 経常経費		
事業名	9586	学校保健管理事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・幼稚園、小学校、中学校の保健管理を総括する、郡市学校保健会の運営や各種団体との情報交換を行い、学校保健の円滑な推進を行います。 ・学校の環境衛生検査を行います。 ・学校における児童生徒の保健管理を充実させるため、より良い諸帳簿の作成を行います。
事業の目的	・小学校、中学校の保健管理を総括するとともに、郡市学校保健会の運営や各種団体との連携調整を行うなど、学校保健の円滑な推進を図ります。 ・学校環境衛生検査により、学校環境の適切な維持管理を行います。 ・学校保健管理の充実を図ります。
事業の効果	・学校保健の充実と円滑な学校保健活動の推進を図ることにより、学校教育の円滑な実施と、その成果が期待できます。 ・学校環境衛生検査を行うことで、環境衛生活動の推進を図ることができます。 ・幼児児童生徒の諸帳簿を作成することで、保健管理を充実させることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	1,073	・各種謝礼金や、負担金の支出を行います。 ・学校環境衛生検査を行います。
令和05年度	1,073	・各種謝礼金や、負担金の支出を行います。 ・学校環境衛生検査を行います。
令和06年度	1,073	・各種謝礼金や、負担金の支出を行います。 ・学校環境衛生検査を行います。
合計	3,219	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
室内化学物質検査を実施した施設数	37施設	37施設	37施設
学校保健管理に必要な諸帳簿作成の割合。	100%	100%	100%
郡市学校保健会や各種団体への負担金の活用	100%	100%	100%

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-2項-1目 / 臨時経費		
事業名	9715	小学校水泳指導委託事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	プール施設を持たない学校における水泳指導を委託します。
事業の目的	プール施設を持たない学校における水泳指導を委託することにより、教育課程の円滑な実施を図ります。
事業の効果	安全で専門的な水泳授業の実施により、小学校学習指導要領での水泳学習のねらいが達成できるとともに、水泳指導の充実を図ることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	10,188	プール施設を持たない佐倉小学校及び西志津小学校における水泳指導業務委託を行います。
令和05年度	10,188	プール施設を持たない佐倉小学校及び西志津小学校における水泳指導業務委託を行います。
令和06年度	10,188	プール施設を持たない佐倉小学校及び西志津小学校における水泳指導業務委託を行います。
合計	30,564	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
水泳指導業務委託による指導の充実	100%	100%	100%
水泳指導業務委託による指導時間数	8単位時間	8単位時間	8単位時間
事故発生件数	0件	0件	0件

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-6項-1目 / 臨時経費		
事業名	15306	感染症対策支援事業		
担当所属		指導課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	新型コロナウイルス感染症がまん延し、今後も引き続き感染症対策を実施する必要性が生じ、関係する消耗品類の購入を行います。
事業の目的	新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品を購入することにより、児童生徒の感染を抑え、安全で衛生的な教育施設を維持し、教育活動を継続して実施することを目的とします。
事業の効果	安全で衛生的な教育施設を維持することで、教育施設で児童生徒への新型コロナウイルス感染症感染を防ぐことができ、継続した教育を実施することができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	6,711	幼稚園、小中学校に新型コロナウイルス感染症対策に必要な消耗品を購入します。
令和05年度	0	(感染状況を見ながら、毎年度要求します。)
令和06年度	0	(感染状況を見ながら、毎年度要求します。)
合計	6,711	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
感染症対策物品を整備した幼稚園・学校数	35施設	35施設	35施設
円滑な教育活動を実施した幼稚園・学校数	35施設	35施設	35施設

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9 款-1 項-3 目 / 臨時経費		
事業名	514	特別支援教育推進事業		
担当所属		教育センター	事業期間	令和 04 年度～令和 06 年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・教育支援委員会において、障害の有無に関わらず、発達に課題のある幼児児童生徒について適切な教育支援を行うために、医師等の専門的な意見を聴取し、その意見を指導支援に生かします。 ・障害の有無に関わらず、発達に課題のある幼児児童生徒の安全確保及び学習・生活の支援を行うため、特別支援教育支援員を幼稚園、小学校及び中学校に派遣します。
事業の目的	・教育支援委員会において、発達に課題のある幼児児童生徒について適切な就学先や支援内容を検討します。 ・発達に課題のある幼児児童生徒への適切な支援を行うことで、主体的な学習の実現を図ります。
事業の効果	・教育支援委員会において、発達に課題のある幼児児童生徒について、医師等から専門的な意見を聴取することにより、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を適切に行うことができます。 ・特別な教育的支援が必要な幼児児童生徒が在籍する学校(園)に特別支援教育支援員を配置することで、充実した学習・生活の支援ができ、よりよい学校運営につながります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和 04 年度	124,145	・佐倉市教育支援委員会を開催します。 ・特別支援教育支援員を適正に配置します。 ・特別支援教育研修会を開催します。
令和 05 年度	124,143	・佐倉市教育支援委員会を開催します。 ・特別支援教育支援員を適正に配置します。 ・特別支援教育研修会を開催します。
令和 06 年度	124,143	・佐倉市教育支援委員会を開催します。 ・特別支援教育支援員を適正に配置します。 ・特別支援教育研修会を開催します。
合計	372,431	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和 04 年度	令和 05 年度	令和 06 年度
教育支援委員会の開催回数	3 回	3 回	3 回
特別支援教育支援員配置率	100%	100%	100%
特別支援教育支援員の研修実施回数	2 回	2 回	2 回
教育支援委員会の審議件数	100 件	100 件	100 件

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 臨時経費		
事業名	754	学校図書館活性化事業		
担当所属		教育センター	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・学校図書館において蔵書の整理・電算管理、貸出業務を行い、図書館利用の促進を図ります。 ・学校図書館司書の専門的な知識を生かし、児童生徒への的確な支援を行い、読書量を増やします。 ・児童生徒の「読書の時間」でのサポートを図ります。
事業の目的	・学校図書館を活性化し、子どもたちが読書の楽しさを知り、学校 図書館の活用率と読書量を増やすために当事業を実施します。
事業の効果	・学校図書館司書を配置することで、専門的な知識に基づいた児童 生徒への支援が行われ、図書の出冊数が増加します。 ・図書館の蔵書の整理、整備をはじめとする図書館環境を整えることで読書環境も充実し、授業等の利用頻度が高まります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	12,621	・各学校に学校図書館司書を適正に配置します
令和05年度	12,621	・各学校に学校図書館司書を適正に配置します
令和06年度	12,621	・各学校に学校図書館司書を適正に配置します
合計	37,863	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
学校図書館司書1校あたりの平均年間勤務日数	50日	50日	50日
学校図書館司書1校につき月の平均勤務時間数	26時間	26時間	26時間
学校図書館司書研修会開催回数	3回	3回	3回
学校図書授業活用時数(1学級あたりの年間活用時数)	小40時間 中16時間	小40時間 中16時間	小40時間 中16時間
読書活動推進の取り組みとして全校一斉読書を行っている学校数	34校	34校	34校

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策1(良好な学習環境を整備します)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 臨時経費		
事業名	11870	インクルーシブ教育システム推進事業		
担当所属		教育センター	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	地域の教育資源の組合せ(スクールクラスター)の活用により、支援が必要な幼児児童生徒があらゆる場で合理的配慮に基づく支援が受けられる体制を構築するためのインクルーシブ教育システム構築を推進します。
事業の目的	- ことば等の発達に課題のある児童の教育的ニーズを正しく理解し、あらゆる場で合理的配慮に基づく適切な支援が受けられるようにします。 - 障害の有無にかかわらず、発達に課題のある幼児児童生徒について、地域の関係機関が連携して支援にあたることのできる体制を構築します。
事業の効果	- ことば等の発達に課題のある児童への教育的効果を高めることができます。 - 発達に課題のある幼児児童生徒の育ちを支える関係機関が連携し、一貫した教育が早期から展開されることにより、一人一人の確かな成長を支えることができます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	2,174	- ことば等の発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。 - 地域資源の組み合わせ(スクールクラスター)を活用し、発達に課題のある幼児児童生徒への支援について関係機関が連携し、継続的に支援することのできる体制づくりを行います。
令和05年度	2,174	- ことば等の発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。 - 地域資源の組み合わせ(スクールクラスター)を活用し、発達に課題のある幼児児童生徒への支援について関係機関が連携し、継続的に支援することのできる体制づくりを行います。
令和06年度	2,174	- ことば等の発達に課題のある児童への理解を深めるとともに、合理的配慮に基づく適切な支援の充実を図ります。 - 地域資源の組み合わせ(スクールクラスター)を活用し、発達に課題のある幼児児童生徒への支援について関係機関が連携し、継続的に支援することのできる体制づくりを行います。
合計	6,522	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
ことばの発達に支援が必要な児童のための研修を実施した小学校の数	23校	23校	23校
ことばの発達に課題のある児童が通級することばの教室数	9教室	9教室	9教室
ライフサポートファイルを活用した学校数	34校 2園	34校 2園	34校 2園
関係者の連携のためのチーム支援会議開催回数	12回	12回	12回
ことばの発達に課題のある児童の通級指導教室への通級者数	200人	200人	200人

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策2(地域に開かれた学校運営を行います)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-6項-1目 / 経常経費		
事業名	93	学校通学路安全確保事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・登下校時の通学路及び学校敷地内の巡回警備(通学路巡回警備)を行います。 ・スクールガードボランティア活動(アイアイプロジェクト)を行います。活動に当たっては、ベスト、腕章、横断旗等を配付します。また、スクールガードフォーラム及びスクールガード情報交換会を開催します。
事業の目的	・登下校時の通学路及び学校敷地内の巡回警備を行い、児童・生徒の安全・安心を確保します。 ・アイアイプロジェクトでは、児童・生徒の安全を確保するとともに学校と地域の交流を図ります。
事業の効果	・登下校時の通学路及び学校敷地内の巡回警備を行い、交通事故や不審者等から児童・生徒を守ります。 ・アイアイプロジェクト活動を推進し、スクールガードボランティアとともに児童・生徒の安全・安心を確保するとともに、学校を核とした地域コミュニティが形成されます。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	10,896	・市内5地区で、巡回警備をします。 ・学校敷地内の巡視を行います。 ・危険箇所及び不審者情報のあった地点については重点警備を行います。
令和05年度	10,896	・市内5地区で、巡回警備をします。 ・学校敷地内の巡視を行います。 ・危険箇所及び不審者情報のあった地点については重点警備を行います。
令和06年度	10,896	・市内5地区で、巡回警備をします。 ・学校敷地内の巡視を行います。 ・危険箇所及び不審者情報のあった地点については重点警備を行います。
合計	32,688	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
スクールガードフォーラム参加者数	175人	175人	175人
通学路巡回警備実施回数	200回	200回	200回
スクールガードボランティア参加者数	10,000人	10,000人	10,000人
不審者情報数	35件	35件	35件

総合計画の位置付け		第4章-基本施策2-施策2(地域に開かれた学校運営を行います)		
会計 / 区分		【会計】一般会計 9款-1項-3目 / 経常経費		
事業名	418	開かれた学校づくり推進事業		
担当所属		学務課	事業期間	令和04年度～令和06年度

【実施計画の概要】

事業の内容	・各学校に、教育に関する理解及び識見を有する学校評議員を委嘱設置します。 ・教育に関して、学校・家庭地域が抱える様々な問題について話し合う教育ミニ集会を開催します。教育ミニ集会の話し合いの中から、学校・地域・家庭が一体となった様々な交流活動や奉仕活動を行います。
事業の目的	・校長が学校の教育目標・計画や地域との連携の進め方などについて、広く意見を求めます。 ・教育ミニ集会では、学校を核とした地域コミュニティの構築を目指します。
事業の効果	・学校教育に見識が深い学校評議員の有益な意見が、校長の判断及び決定に寄与します。 ・教育ミニ集会では、自由なテーマで様々な教育問題や地域の課題について、本音で語り合うため、学校・地域・家庭間の信頼関係が深まります。

【事業の概要】

年度	事業費(千円)	事業内容
令和04年度	1,701	・市内幼稚園及び小中学校で学校評議員を委嘱設置します。 ・市内小中学校で教育ミニ集会を実施します。
令和05年度	1,701	・市内幼稚園及び小中学校で学校評議員を委嘱設置します。 ・市内小中学校で教育ミニ集会を実施します。
令和06年度	1,701	・市内幼稚園及び小中学校で学校評議員を委嘱設置します。 ・市内小中学校で教育ミニ集会を実施します。
合計	5,103	

【活動指標・成果指標】

指標名	令和04年度	令和05年度	令和06年度
学校と地域の連携事業数	155回	155回	155回
教育ミニ集会への参加者数	2,300人	2,300人	2,300人